

—住宅メーカー9社による住宅建築時の家族のコミュニケーションに関する共同意識調査—
**～夫主導型の家づくり。夫はハード重視、妻はソフト重視～
妻や母のこだわりをどう調整？**

住宅メーカー9社（旭化成ホームズ（ヘーベルハウス）、住友林業、積水化学工業（セキスイハイム）、大和ハウス工業、トヨタホーム、パナホーム、ミサワホーム、三井ホーム、ヤマダ・エスバイエルホーム）が共同で住宅建築に関する有益な情報提供などを行う**イエノミカタプロジェクト**（ホームページURL：<http://ienomikata.com/>）は、注文住宅を建築した人を対象に、住宅建築における家族のコミュニケーションの調査を実施しました。この調査は、住宅の建築検討における家族間のコミュニケーションのあり方を明らかにして、今後の家づくりを楽しく行えるようにすることを目的として行ったものです。

＜＜調査結果概要＞＞

- **夫が主導する、注文住宅の建築**（→ P3）
 - 住宅建築の各検討段階における主導者をたずねたところ、住宅の建築を思い立った人・依頼する会社の情報を集めたり整理した人・依頼する会社を決断する際に中心的な役割を担っていた人のいずれも、「夫」が「妻」を上回る。
- **住宅の建築を思い立つのは「夫」**（→ P4）
 - 住宅の建築を思い立った人は「夫」が58%で、「妻」(28%)の2倍を超える水準。
 - ただし、妻の親と同居している世帯では、「妻」が思い立つ割合が4割に達する。
- **検討中のこだわりが強いのは「妻」**（→ P5）
 - 依頼先を検討する上で、各種条件に対するこだわりが強かった人は「妻」が64%で、「夫」(57%)を上回る。
 - 二世帯同居の場合は「母親」も2割強がこだわりを持つ。
- **最終的に依頼先を決定するのは「夫」が圧倒的**（→ P7）
 - 依頼先の最終決定者は「夫」が73%で突出している。「妻」が決定する割合は20%。
- **夫はハードにこだわり、妻はソフトにこだわる**（→ P8）
 - こだわった条件のトップは夫・妻ともに「間取り・プラン」(夫62%、妻64%)。
 - 「間取り・プラン」に次いでこだわりが強い条件は、夫は「耐震性の高さ」(59%)・「耐久性の高さ」(47%)などのハード系、妻は「家事のしやすさ」(55%)・「収納の充実」(50%)などのソフト系であった。
- **意見調整方法のトップは「話し合い」**（→ P12）
 - 家族の意見を調整する方法で最も多かったのは「とことん話しあった」が34%で最も多く、「実物や実例を直接見ってもらって納得してもらった」が18%、「代替の提案をした」が16%で続く。
 - 検討時には46%が「1週間に2回以上」家族会議を開催。
- **家族会議をするほど入居後の満足度は高くなる**（→ P13）
 - 注文住宅建築の総合的な満足度は「たいへん満足」「満足」合わせて82%。
 - 検討時に開いた家族会議の回数が「1～2回」の場合、「たいへん満足」の割合は22%だが、「11回以上」になると39%にまで上昇する。

■本調査についてのお問合せは、下記までお願いいたします■

<<目次>>

調査概要	2
1 建築の検討主導者	3
2 建築を思い立った人	4
3 こだわりが強かった人	5
4 情報収集をした人	6
5 依頼先の決定者	8
6 夫と妻の意見調整	9
7 夫婦と親の意見調整	10
8 意見調整の方法	12
9 総合満足度	13
10 居住後の満足度	14

<<調査概要>>

■調査目的 … 注文住宅の建築検討における家族間のコミュニケーションについて明らかにすること。

■調査対象 … 全国の過去3年以内に注文住宅を建築した人 1271名

家族構成による回収数は以下の通り。

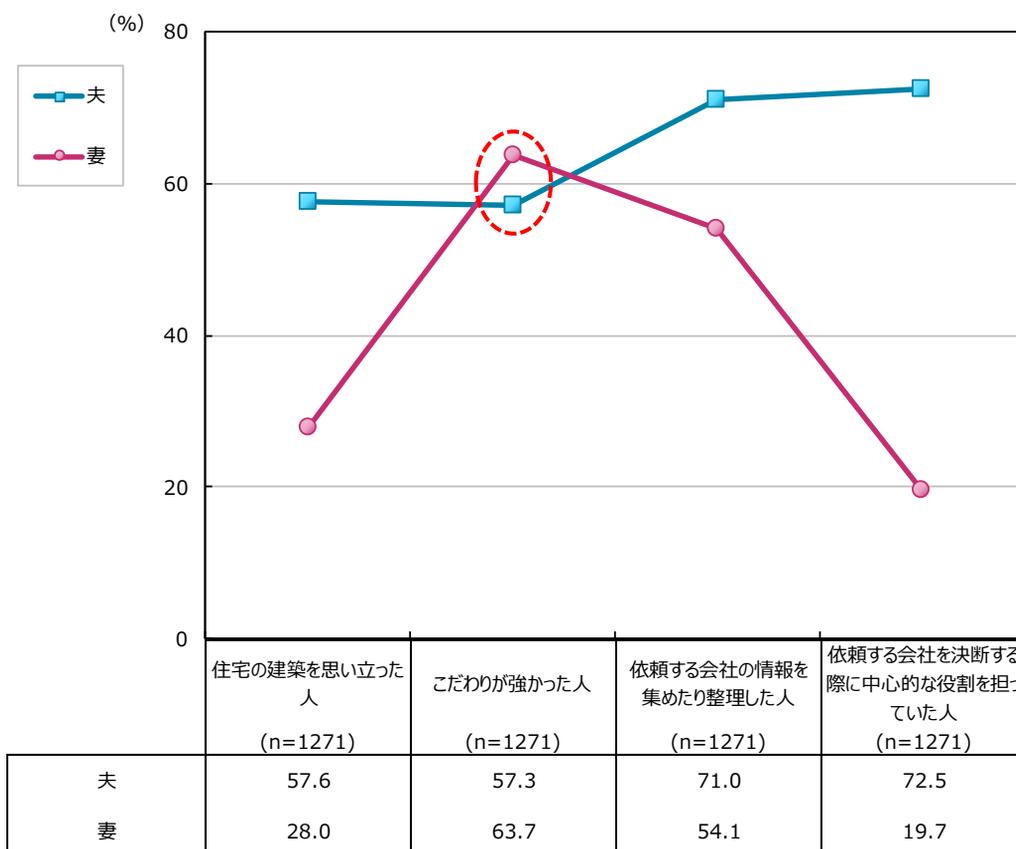
「イエノミカタ」参画メーカーで建てた人				その他の会社で建てた人				計
夫婦のみ世帯	夫婦+子供 (扶養)世帯	二世帯住宅世帯		夫婦のみ世帯	夫婦+子供 (扶養)世帯	二世帯住宅世帯		
		夫の親+夫婦 世帯	妻の親+夫婦 世帯			夫の親+夫婦 世帯	妻の親+夫婦 世帯	
218	258	101	51	254	254	85	50	1271

■調査方法 … インターネットリサーチ(楽天リサーチのモニターを使用)

■調査期間 … 2014年1月31日(金)～2014年2月3日(月)

- ▶ 住宅の建築を思い立った時から依頼先を決定するまでの各段階における主導者は、「こだわりが強かった人」では妻が夫を上回るものの、それ以外の段階では夫の方が多い結果となった。
- ▶ 特に、依頼先の検討・決定にあたっては夫主導が70%を超える。

■ 住まいの建築の検討主導者（全体）

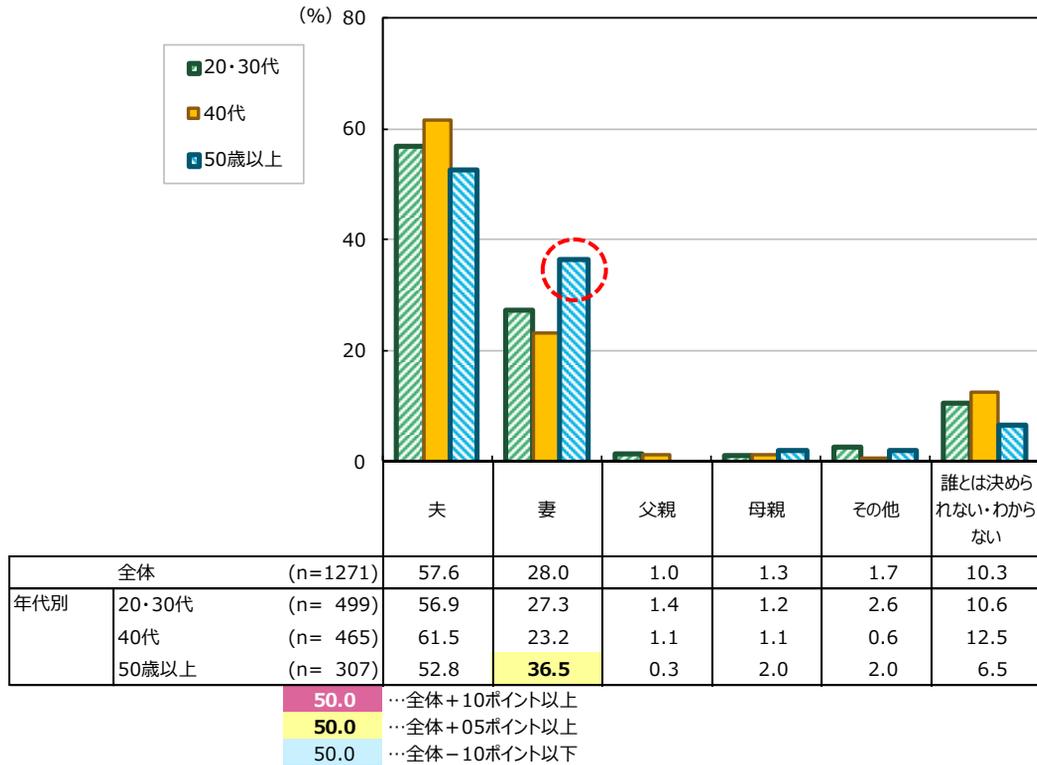


※「住宅の建築を思い立った人」、「依頼する会社を決断する際に中心的な役割を担っていた人」…単一回答

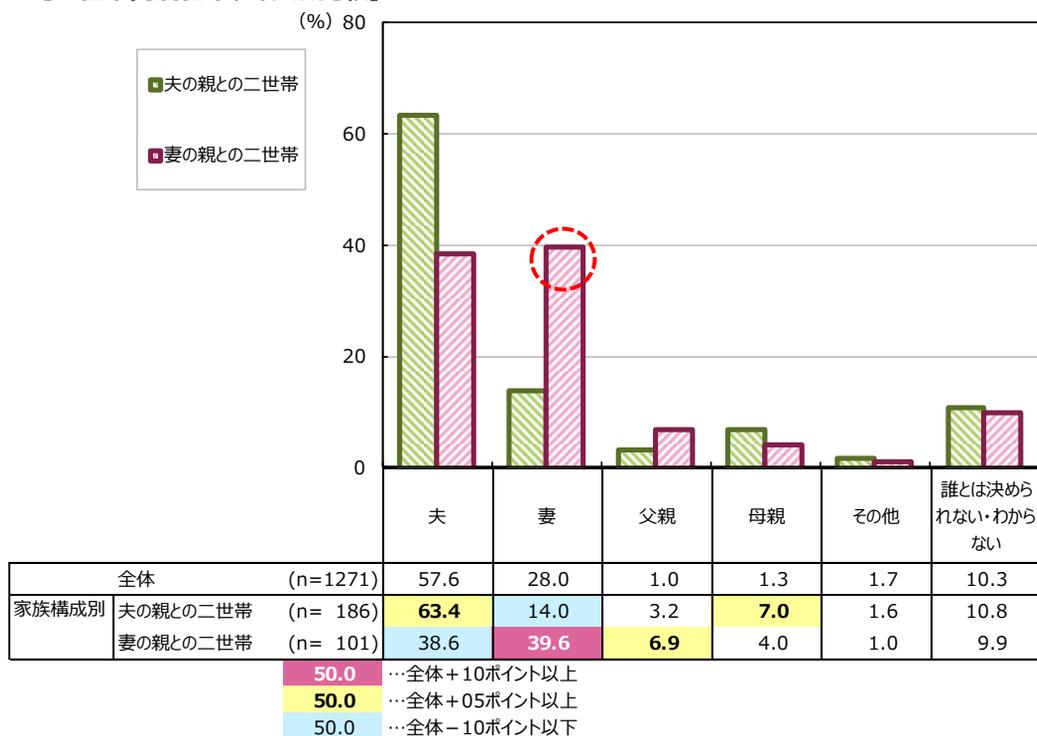
※「こだわりの強かった人」、「依頼する会社の情報を集めたり整理した人」…複数回答

- ▶ 住宅の建築を思い立った人は「夫」が58%、「妻」が28%と倍以上「夫」が多い。
- ▶ 年代別にみると、50歳以上では「妻が思い立った」という人が37%と増える。
- ▶ 妻の親との二世帯同居の場合には、妻が思い立ったという人が約4割と夫を上回る。

■住宅の建築を思い立った人（全体／単一回答） 【年代別比較】



【二世帯同居世帯タイプ別比較】

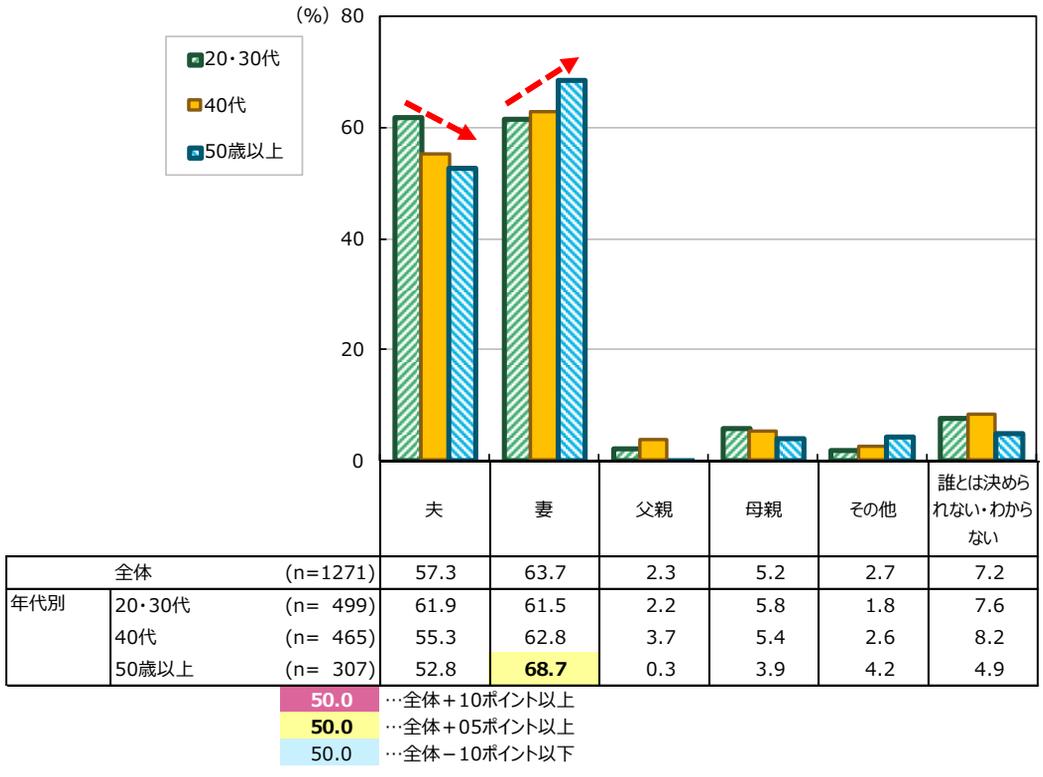


3. こだわりが強かった人

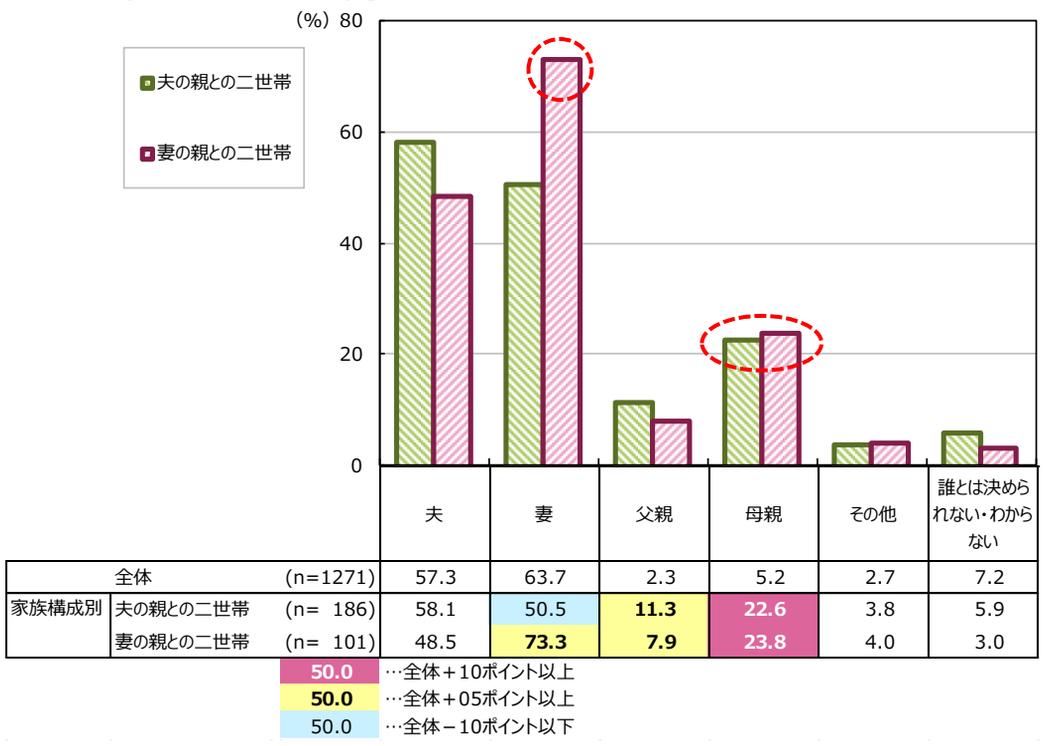
年齢と共にこだわりが弱くなる夫、ますます強くなる妻

- ▶ 全体回答で、こだわりが強かった人は「妻」が64%、「夫」が57%と「妻」がやや多い。
- ▶ こだわりを持つ割合は、「夫」は若年層ほど高く、「妻」は高年齢層ほど高くなる。
- ▶ 二世帯同居世帯ではこだわりが強かった人に「母親」が20%を超えて存在感を現わす。
- ▶ 妻の親との二世帯同居では「妻」が73%と圧倒的なこだわりの強さ。

■こだわりが強かった人（全体／複数回答）
【年代別比較】

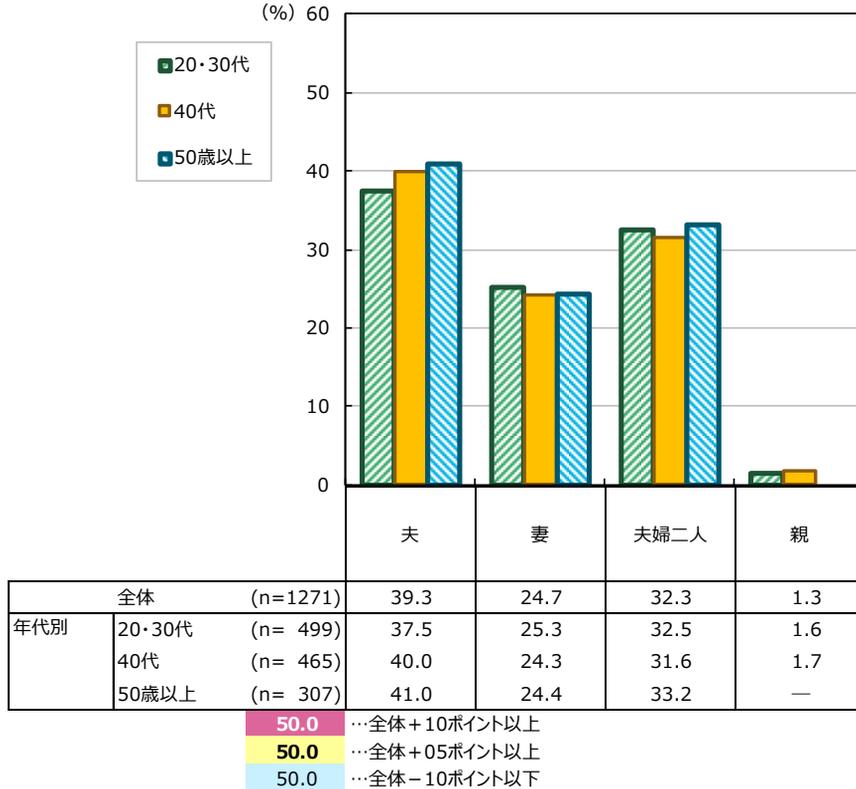


【二世帯同居世帯タイプ別比較】

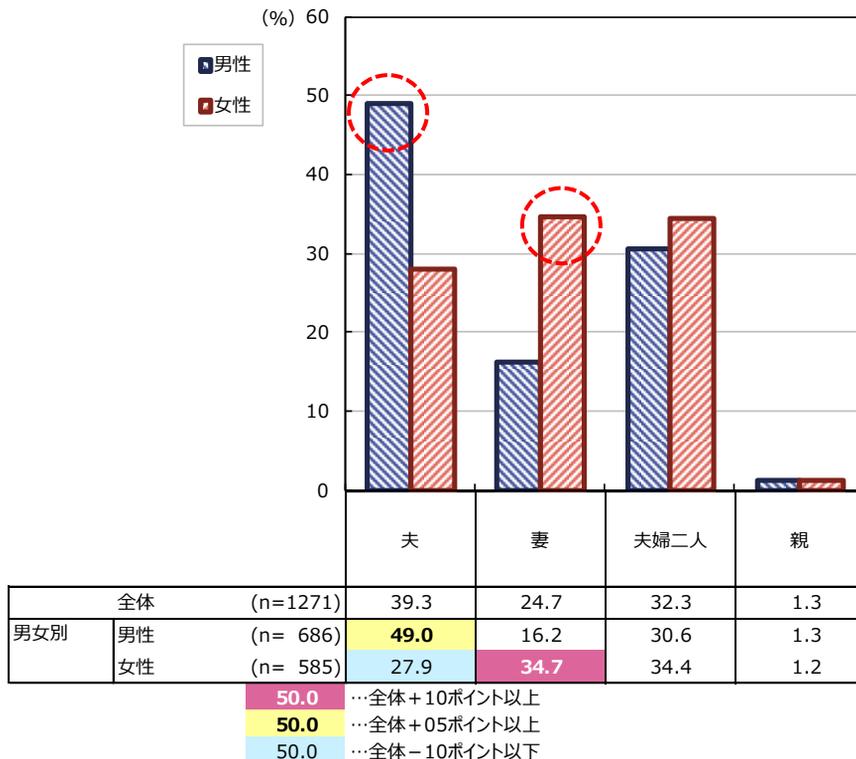


- ▶ 情報収集や情報の整理をした人は誰かたずねたところ、夫婦がそれぞれ単独で行動したとする回答は「夫」(39%)と「妻」(25%)合わせて64%となっており、「夫婦二人」(32%)のほぼ2倍の水準となった。
- ▶ 回答者の男女別にみると、男性回答者の場合は「夫」が49%と増え、一方、女性回答者の場合は「妻」が35%で「夫」(28%)を逆転し、双方とも自分自身が配偶者よりも情報収集に熱心だったと回答。

■ 情報収集・整理をした人 (全体/単一回答)
【年代別比較】



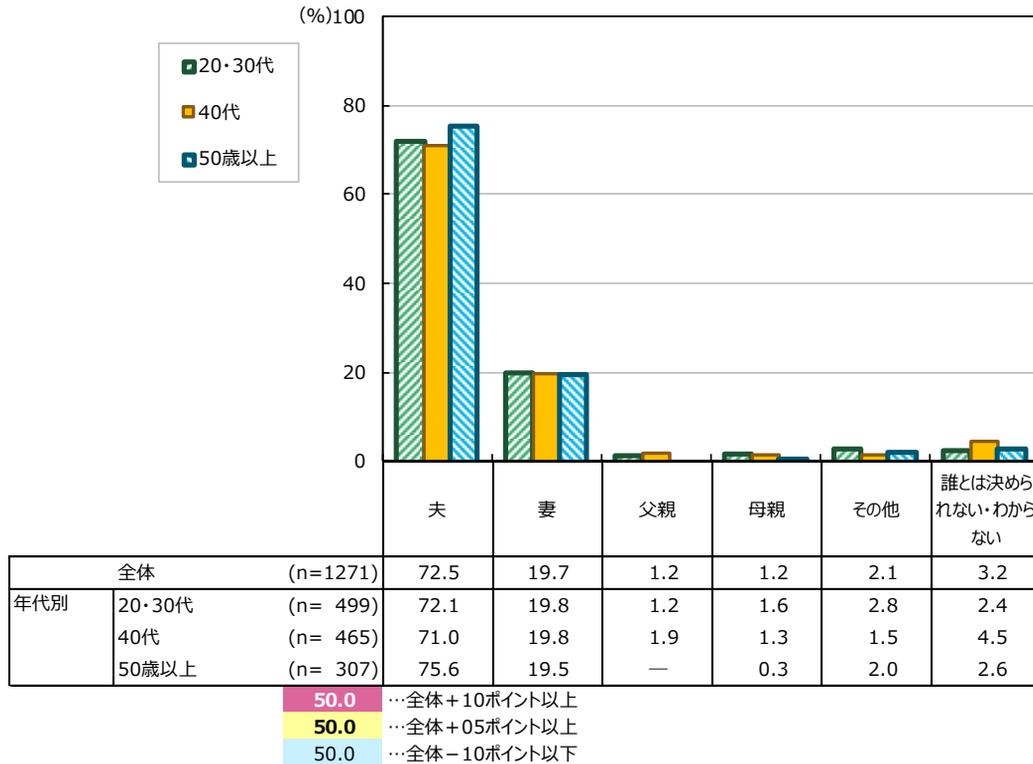
【回答者の男女別比較】



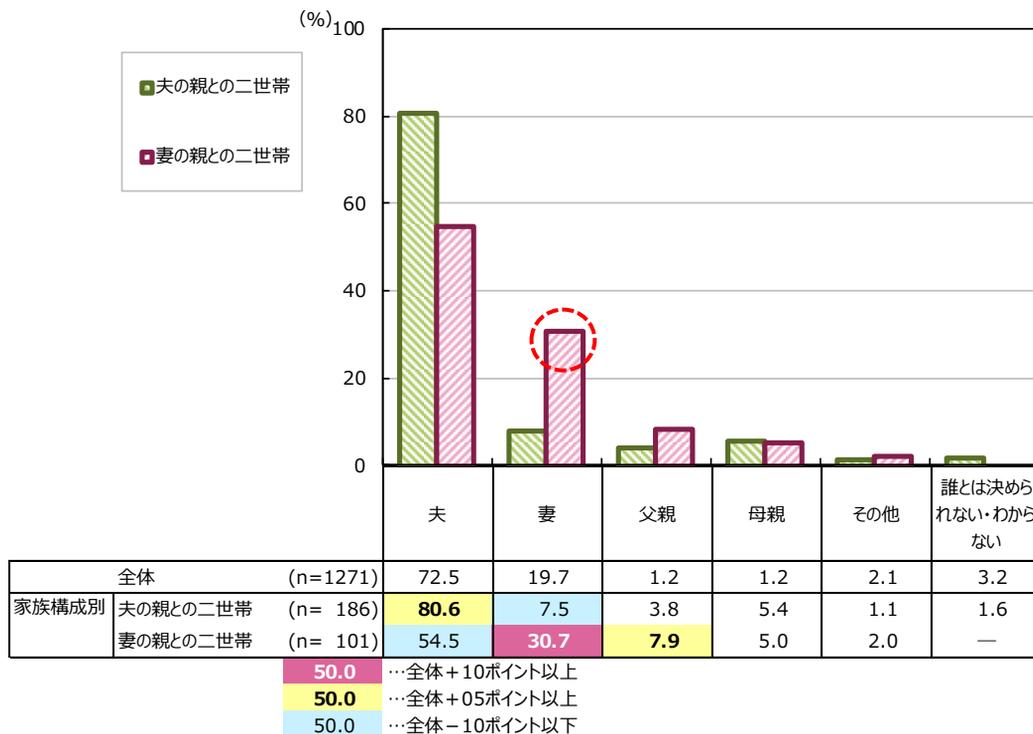
- ▶ 建築依頼先を中心的に決断した人は、「夫」が73%「妻」が20%と、年代に関わらず「夫」が圧倒的に多い。
- ▶ 妻の親との二世帯同居では「妻」が31%と増加。「妻の父親」も8%と顕在化。

※ “マスオさん” …妻の親と二世帯で住む夫のこと

■ 建築を依頼する会社を決断する際に中心的な役割を担っていた人（全体／単一回答）
【年代別比較】

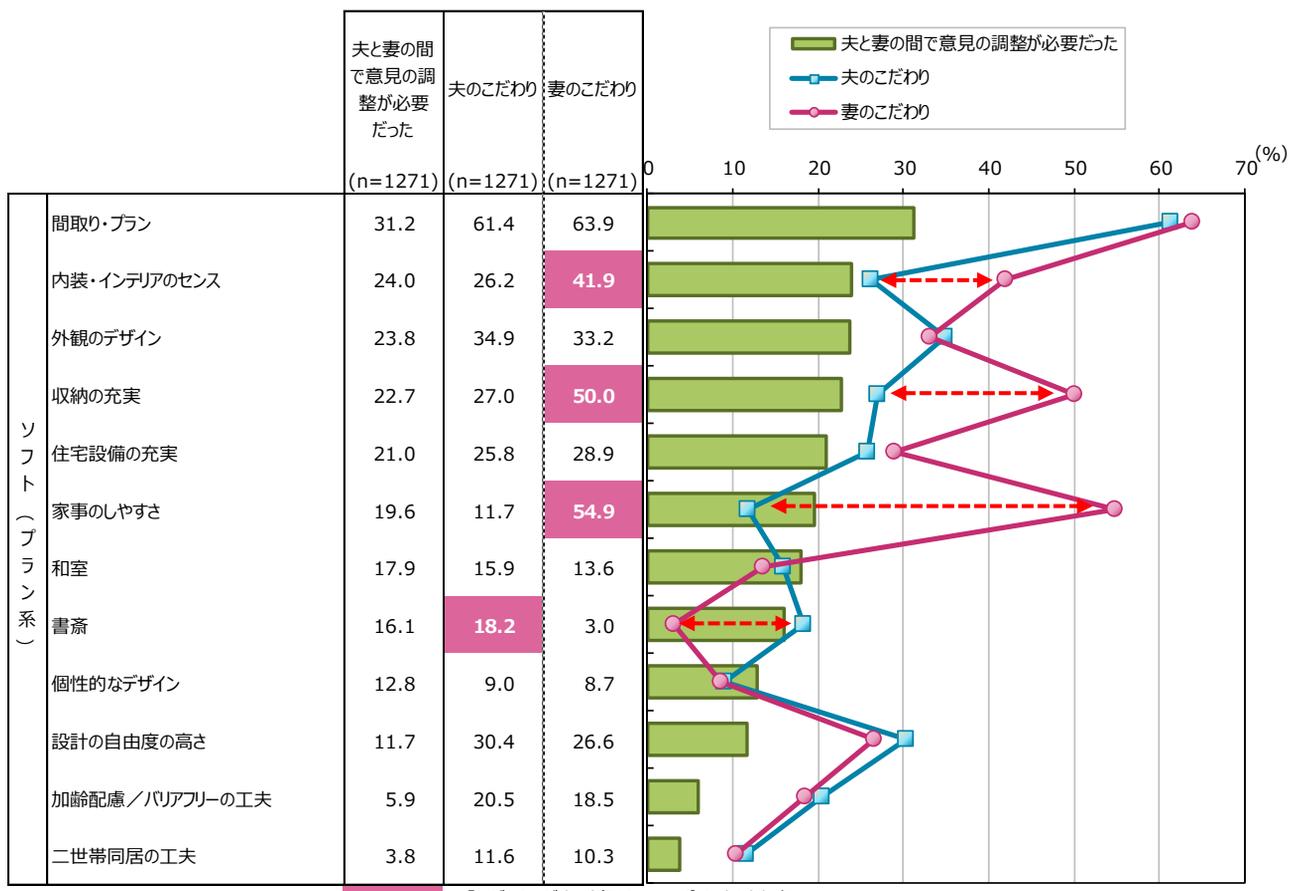


【二世帯同居世帯タイプ別比較】



- ▶ 夫婦でこだわった条件を比較すると、夫は「耐震性の高さ」（夫59%、妻40%）、「耐久性の高さ」（夫47%、妻30%）、「高気密・高断熱性」（夫46%、妻31%）などのハード面に対するこだわりが強く、妻は「家事のしやすさ」（夫12%、妻55%）、「収納の充実」（夫27%、妻50%）、「内装・インテリアのセンス」（夫26%、妻42%）などのソフト面にこだわりが強い。
- ▶ ハード・ソフト以外の面では、夫は「アフターサービス及び保証制度」（夫37%、妻26%）、「メンテナンスコストの低さ」（夫30%、妻20%）、妻は「子育てのしやすさ」（夫8%、妻23%）にもこだわりを持っている。
- ▶ 意見の調整を必要とすることからは、ハード面よりもソフト面に多い。
- ▶ 最も意見調整が必要で、夫・妻のこだわりが共に最も高いのが「間取り・プラン」。
- ▶ 意見調整の必要度が高く、夫・妻のこだわり度にギャップがある項目は、「収納の充実」「家事のしやすさ」など。

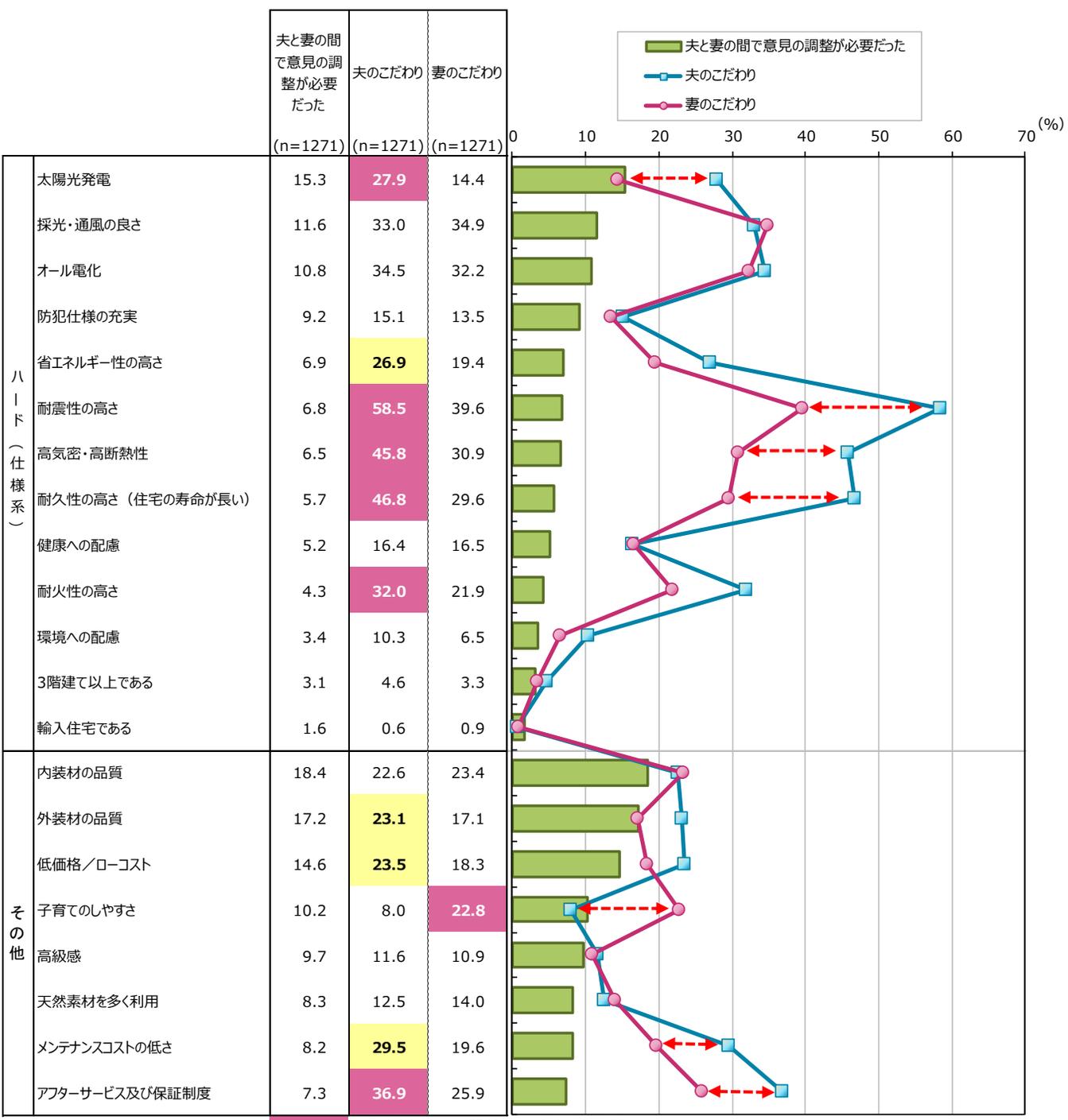
■ 夫と妻での意見調整（全体／複数回答）



50.0 …「こだわり」が夫／妻より+10ポイント以上高い
 50.0 …「こだわり」が夫／妻より+05ポイント以上高い

※「ソフト（プラン系）」「ハード（仕様系）」「その他」の各カテゴリごとに、夫と妻の意見調整の必要度の高い順にソート

■夫と妻での意見調整（全体／複数回答）

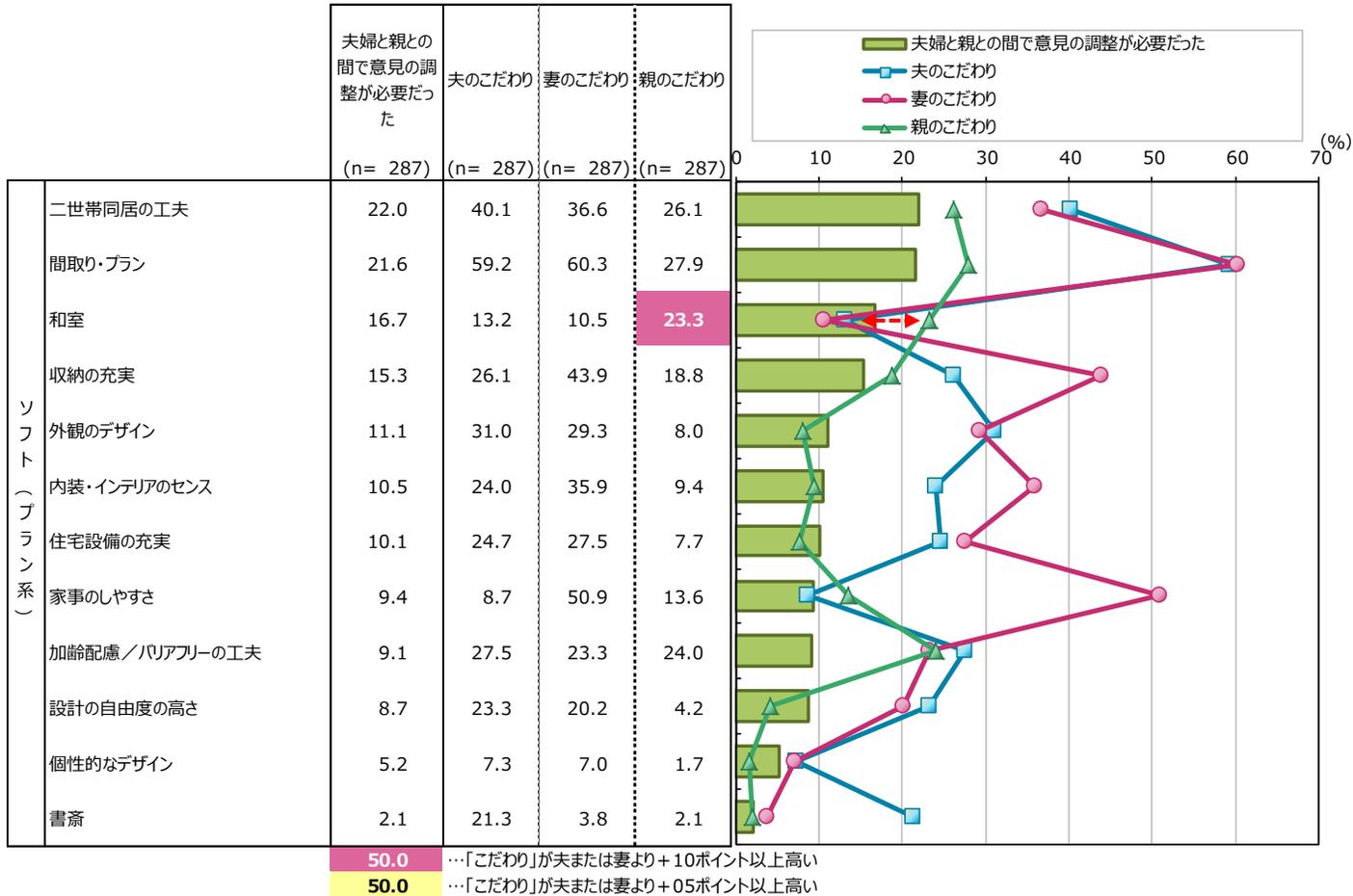


50.0 …「ごだわり」が夫／妻より+10ポイント以上高い
 50.0 …「ごだわり」が夫／妻より+05ポイント以上高い

※「ソフト（プラン系）」「ハード（仕様系）」「その他」の各カテゴリごとに、夫と妻の意見調整の必要度の高い順にソート

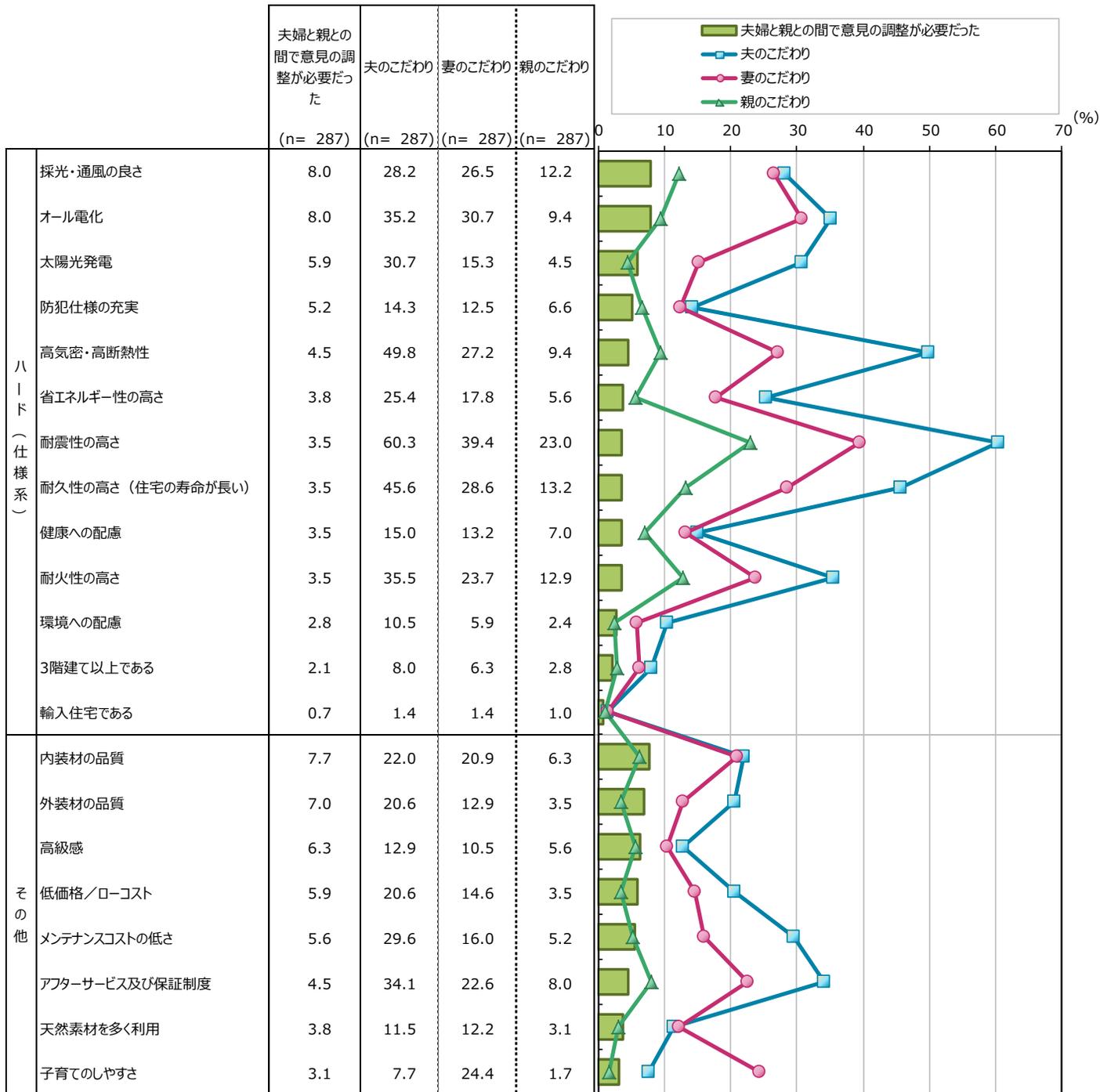
- ▶ 夫婦と親とでこだわった条件を比較すると、「和室」は、夫婦のこだわりは1割強にすぎないが、親のこだわりが23%と多く、親の主張が強いことがうかがわれる。
- ▶ 夫婦と親の間で意見の調整が必要だったことは、「二世帯同居の工夫」が22%で最も多かった。次点は「間取り・プラン」(22%)。こだわりの点で夫婦と親に温度差のみられた「和室」で意見調整が必要だった割合は17%となっている。

■ 夫婦と親との意見調整（二世帯住宅の施主／複数回答）



※「ソフト (プラン系)」「ハード (仕様系)」「その他」の各カテゴリごとに、夫婦と親の意見調整の必要度の高い順にソート

■夫婦と親との意見調整（二世帯住宅の施主／複数回答）



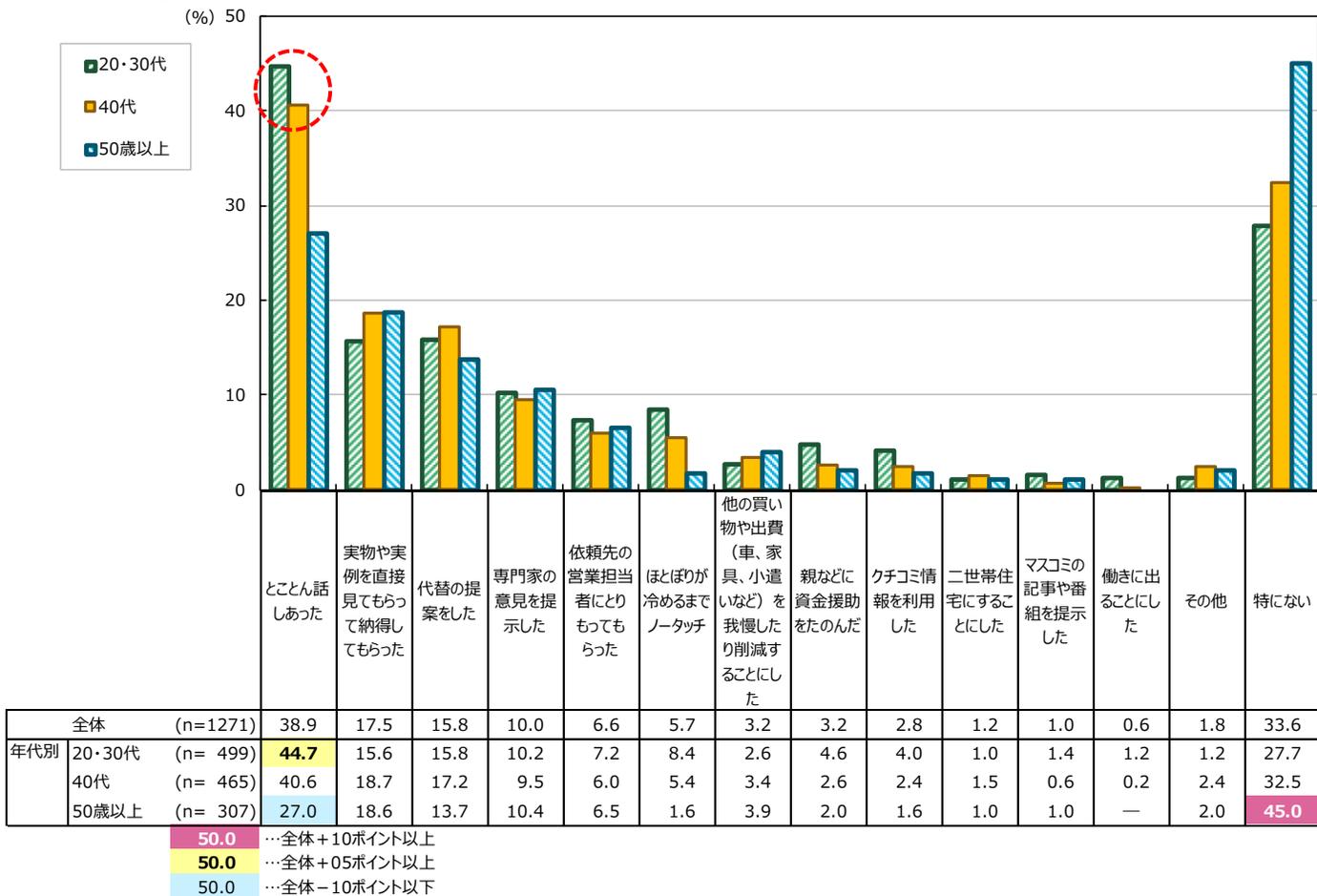
50.0 …「こだわり」が夫または妻より+10ポイント以上高い

50.0 …「こだわり」が夫または妻より+05ポイント以上高い

※「ソフト（プラン系）」「ハード（仕様系）」「その他」の各カテゴリごとに、夫婦と親の意見調整の必要度の高い順にソート

- ▶ 家族の意見調整の方法では、「とことん話しあった」が39%で圧倒的に多く、以下「実物や実例を直接見てもらって納得してもらった」(18%)、「代替の提案をした」(16%)、「専門家の意見を提示した」(10%)と続いた。
- ▶ 年代別にみると、20・30代と40代は50代に比べて「とことん話しあった」が相対的に多い。
- ▶ 家族会議の開催頻度は、「1週間に2〜3回程度」が28%で最も多く、次いで「2週間に1回程度」(23%)、「ほぼ毎日のように」(18%)が続いた。

■ 家族の意見調整の方法 (全体/複数回答)
【年代別比較】



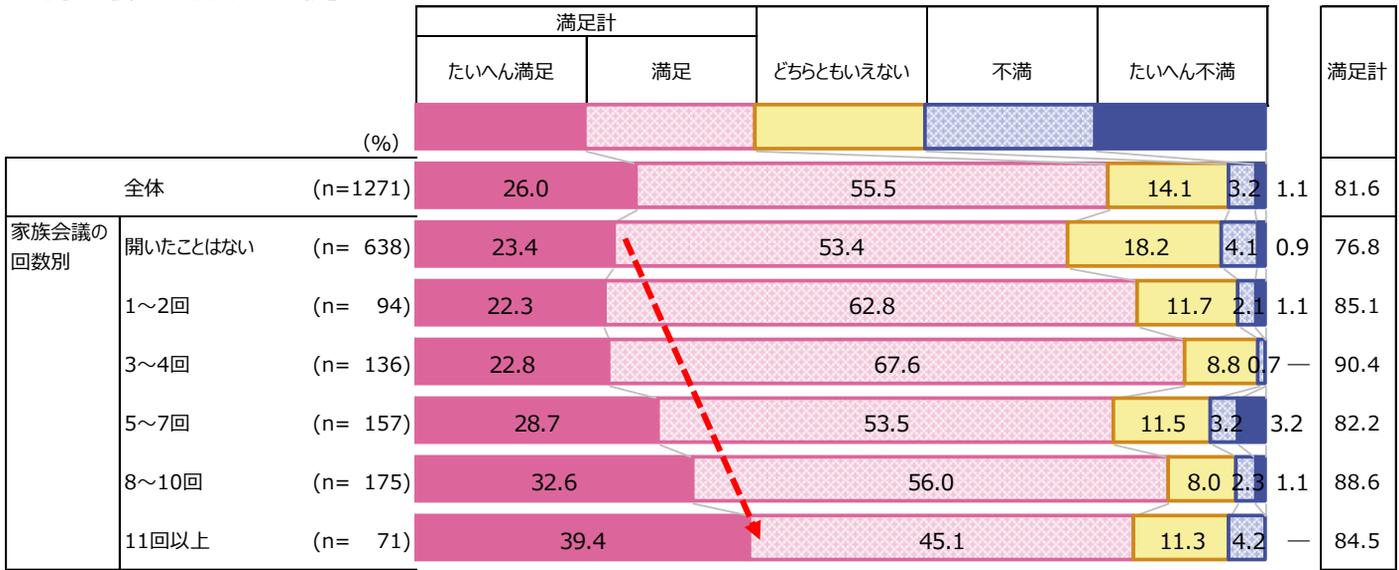
■ 検討時に開いた家族会議の開催頻度 (全体/単一回答)



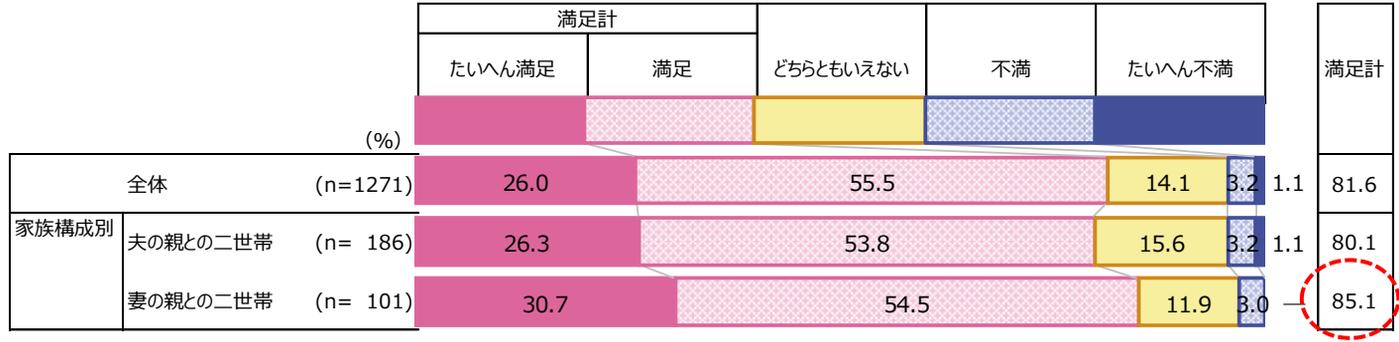
家族会議の回数に比例して高くなる、満足度

- ▶ 注文住宅の検討に総合的に満足したかどうか尋ねたところ、「たいへん満足」が26%、「満足」が56%で、「満足」と回答した人は8割に達した。
- ▶ 検討時に開いた家族会議の回数別にみると、回数が多いほど「たいへん満足」の回答率が高くなる傾向がみられた。
- ▶ 家族構成別にみると、妻の親との二世帯同居の満足度が高い。
- ▶ 住宅の検討後の家族の絆については、「深まったと思う」とする回答が半数を超えた。

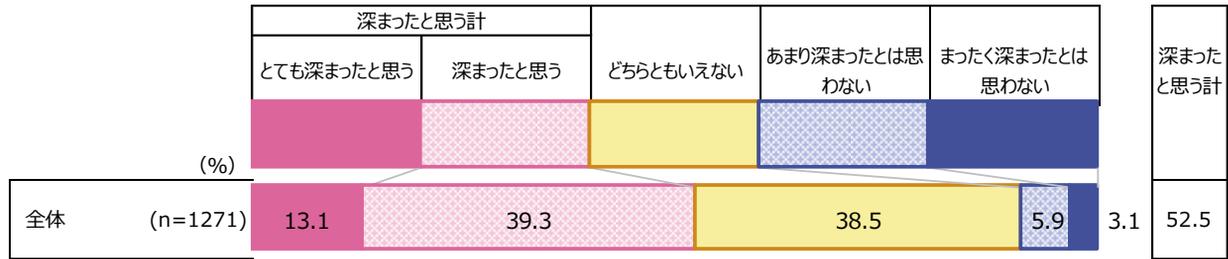
■ 総合満足度 (全体/単一回答) 【家族会議の回数別比較】



【二世帯同居世帯タイプ別比較】



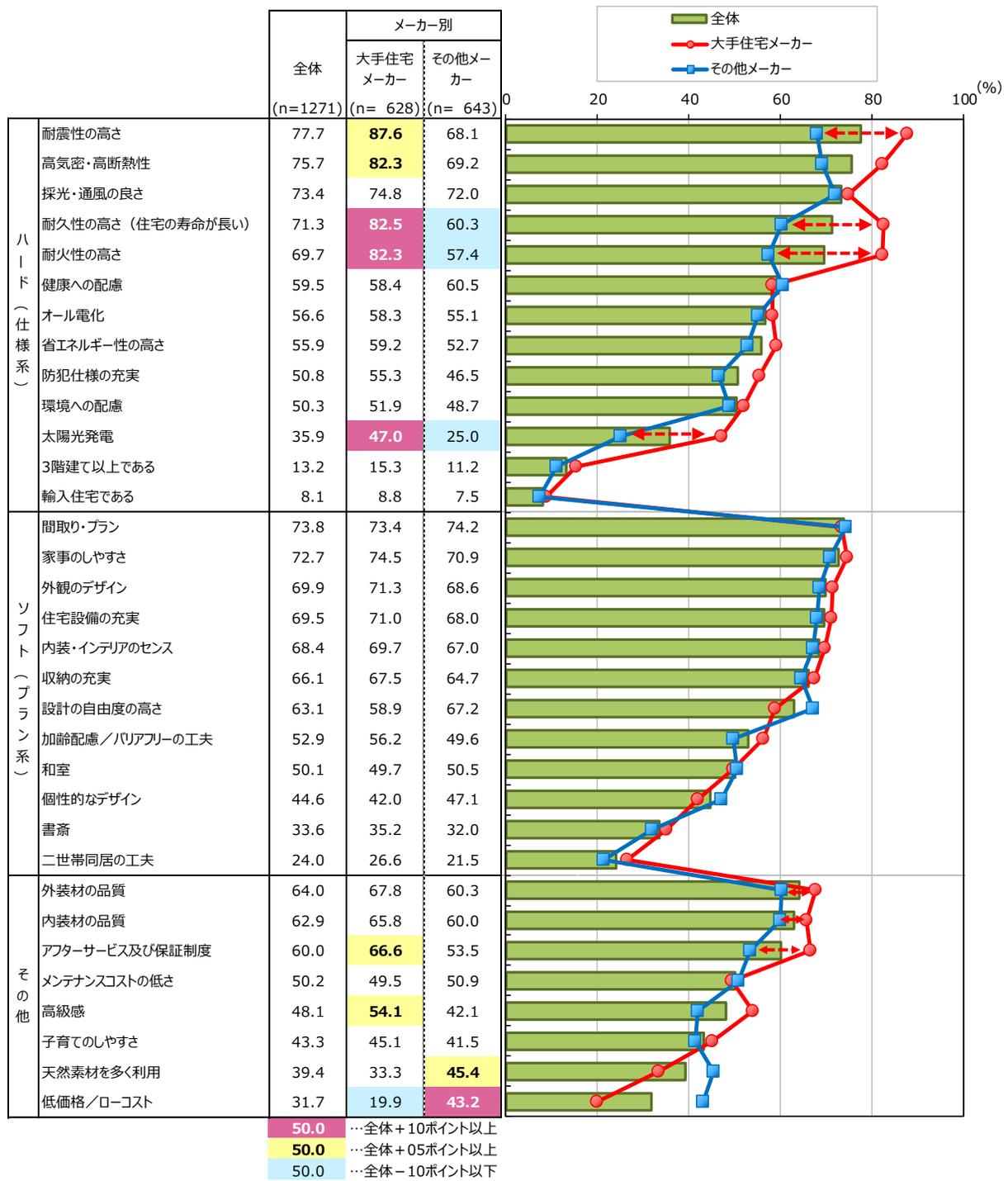
■ 家族の「絆」の変化 (全体/単一回答)



▶ 実際に住んだ際の条件ごとの満足度をみると、大手住宅メーカー（※）による建築では「耐久性の高さ」（大手住宅メーカー83%、その他メーカー60%）、「耐火性の高さ」（大手住宅メーカー82%、その他メーカー57%）、「太陽光発電」（大手住宅メーカー47%、その他メーカー25%）などのハード面や、「アフターサービス及び保証制度」（大手住宅メーカー67%、その他メーカー54%）、「外装材の品質」（大手住宅メーカー68%、その他メーカー60%）、「内装材の品質」（大手住宅メーカー66%、その他メーカー60%）でより満足度が高い結果となっている。

※大手住宅メーカー（=イエノミカタ参画会社）…旭化成ホームズ（ヘーベルハウス）、住友林業、積水化学工業（セキスイハイム）、大和ハウス工業、トヨタホーム、パナホーム、ミサワホーム、三井ホーム、ヤマダ・エスバイエルホーム

■ 居住後の満足度（たいへん満足+満足）（全体/複数回答）



※「ハード（仕様系）」「ソフト（プラン系）」「その他」の各カテゴリごとに、全体の満足度の高い順にソート